

### 教育研究上の目的

心理学科は、幅広い専門的な心理学的知見と態度及び技能を具備し、心理学的支援を要する人々に対し、専門知識をもって発達段階に応じた適切な支援のできる人材を育成することを教育研究上の目的とする。

### 学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

心理学科では、教育研究上の目的を達成するために、次の学生像を人材育成の方針とする。

1. 心理学的な研究方法から得られた実証的なデータに基づいて、人間の心に対する多面的な見方ができる。
2. 心理学における基本的な理論や概念を理解し、共感的理解に基づき、多様な人々とコミュニケーションが取れる。
3. 専門教育で習得した理論・概念・知識・技能をもとに、社会における諸課題の解決に寄与できる。

そのうえで、次の資質及び能力を有している者に「学士（心理学）」の学位を授与する。

#### ①知識・技能

1. 心理学の主な領域（基礎、発達、教育、臨床、社会、健康）における基本的な理論や概念、データに基づいた実証的な研究方法を理解できる。
2. 専門教育で習得した心理学の主な領域（基礎、発達、教育、臨床、社会、健康）に関する理論・概念・技能を人々の生活に応用していく方法を理解できる。
3. データの分析から得られた資料に基づいて、自ら導いた考察や結論を、課題の理解に役立てることができる。

#### ②思考力・判断力・表現力

1. 心理学の主な領域（基礎、発達、教育、臨床、社会、健康）における基本的な理論や概念に基づいて、人の心や行動の特徴を分析的に考えることができる。
2. 心理学の主な領域（基礎、発達、教育、臨床、社会、健康）における基本的な理論や概念に基づいて、他者の心や行動の特徴を分析的に考えることができる。
3. 専門教育で習得した心理学の主な領域（基礎、発達、教育、臨床、社会、健康）に関する理論・概念・技能に基づいて、課題解決の手立てを考え、他者と共有することができる。

#### ③主体性・多様性・協働性

1. 自らの心と身体を健康を保持増進するために、専門教育で習得した理論・概念・知識・技能を進んで活用しようとする意欲をもつことができる。
2. 人々の心と身体を健康を保持増進するために、専門教育で習得した理論・概念・知識・技能を進んで活用しようとする意欲をもつことができる。
3. 社会的な課題を見出し、専門教育で習得した心理学の主な領域（基礎、発達、教育、臨床、社会、健康）に関する理論・概念・技能を活用して、他者と協働しながらその解決に臨むことができる。

### 教育課程編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）

心理学科では、ディプロマ・ポリシーに挙げた資質・能力を身につけさせるため、教育課程として7領域を設定し、各領域に学修過程に応じた科目を配置する。

1. 心理学の理論や概念、実証的・科学的な考え方を理解するための基盤となる知識を身につけ、心理学的な心の捉え方を理解する力を養うために、「心理学概論」、「知覚・認知心理学」などの科目を含む【心理学基礎（心のしくみ）】領域を配置する。
2. 人間の心と行動を実証的・科学的に検証・分析する方法を習得するとともに、実習を通して実践に通じる技能を養うために、「心理学実験」、「心理学的研究法」、「心理学情報処理法」を含む【研究法・データサイエンス（心の探求）】領域を配置する。
3. 人間の発達過程に対する多面的かつ複合的な理解を深め、その知識を基盤としながら教育現場に対する理解と指導について実践的に学び、問題や課題を早期に発見する姿勢及び柔軟に対応できる力を養うために、「発達心理学概論」、「教育心理学」、「養護教諭実践論」を含む【発達・教育（心と育ち）】領域を配置する。
4. 心のケア・サポートに関する知識や理論を学び、事例学習や実習を通して心理的な課題への支援・援助に関する専門的知識及び技能を養うために、「臨床心理学概論」、「カウンセリング技法」、「公認心理師の職責」などを含む【臨床（心のケア）】領域を配置する。
5. 社会の諸場面（自己、対人関係、集団、組織）における人々の行動特性を学び、日常生活における課題に対して心理学の専門的知識を活かす姿勢を養うために、「社会心理学概論」、「対人関係の心理学」、「産業心理学」などを含む【社会・産業（心とつながり）】領域を配置する。
6. 学校における児童・生徒の養護及び保健教育・指導に関わる専門的知識や技能を習得し、かつ事例学習や実習を通して現場において問題や課題を早期に発見する姿勢及び問題に対して柔軟に対応できる力を養うために、「学校保健Ⅰ」、「人体の構造と機能及び疾病」、「小児保健看護学」、「健康・医療心理学」などを含む【健康・保健（心とからだ）】領域を配置する。
7. 学びの集大成として、研究論文の作成に取り組み、その過程で課題発見・解決力や論理的思考力を養うために、「卒業研究」を含む【卒業研究】領域を配置する。

そのための教育課程の編成方針は以下のとおりである。

#### 心理学基礎(心のしくみ) 領域

1. 自身の経験や体験を踏まえて、人間の知覚・認知に関わる心のしくみに関する理論や概念、専門知識を習得させる。
2. 自己と他者の共通点や相違点を考察し、人間の知覚・認知に関わる心のしくみを理解させる。
3. 人間の知覚・認知に関わる心のしくみを、脳科学や神経生理学など関連諸領域の知見を交えて理解させる。
4. 知覚・認知の理論や知識に基づいて、自らの行動を省察し人間の行動を論理的・科学的に考察する力を養う。
5. 知覚・認知の理論や知識に基づいて、他者や集団の行動を省察し人間の行動を分析的に考察する力を養う。
6. 知覚・認知的事象のしくみを研究するための方法を論理的に組み立てたり説明したりする力を養う。
7. 知覚・認知的事象を「自分事」として捉えることで人間の心の多様性を理解する姿勢を育成する。
8. 知覚・認知的事象を他者視点で捉え直すことで、多角的に心の多様性を理解する姿勢を育成する。
9. 心のしくみに関する課題を自ら発見し、他者と協働して多角的視点をもって課題解決に取り組む力を養う。

#### 研究法・データサイエンス（心の探求）領域

1. 自分自身について探求的にかつ実証的・科学的に検討するために必要な知識・技能・研究方法などについて理解を深める。
2. 人間の心を実証的・科学的に探求するために必要な知識・技能・研究方法などについて理解を深める。
3. 社会的な課題について心理学的な手法を用いて、実証的・科学的に検証するために必要な知識・技能・研究方法などについて理解を深める。
4. 人間の心について実証的・科学的に探求するために理論や知識に基づいて、自分自身の心や行動を分析的に考える力を養う。
5. 人間の心について実証的・科学的に探求するために理論や知識に基づいて、他者の心や行動を分析的に考える力を養う。

6. 社会的な課題について心理学的な手法を用いて、実証的・科学的に検証する力を養う。
7. 人間の心について実証的・科学的に探求するために理論や知識に基づいて、意欲的に自分自身を探求しようとする態度を養う。
8. 人間の心について実証的・科学的に探求するために理論や知識に基づいて、意欲的に人間理解を進めようとする態度を養う。
9. 社会的な課題について心理学的な手法を用いて、実証的・科学的に検証しようとする態度を養う。

#### 発達・教育（心と育ち）領域

1. 人の生涯にわたる発達の過程と要因に関する基本的な理論や概念、研究方法などについて理解させる。
2. 生涯発達と教育に関する理論・知識・技能を人々の生活に応用していく方法について理解を深める。
3. 生涯発達と教育に関する専門的な知識・技能を用いて、人々の生活や学習における課題についての理解を深める。
4. 生涯発達に関する基本的な理論や概念に基づいて、自分の心や行動とその変化の特徴を分析的に考える力を養う。
5. 生涯発達と教育に関する理論や概念に基づいて、他者の心や行動の特徴とその変化について分析的に考えさせる。
6. 生涯発達と教育に関する専門的な理論・概念に基づいて、実証的な課題解決の手立てを考え、他者と共有する力を養う。
7. 生涯発達に関する心理学的な知見に興味をもって調べ、自らの発達について考えようとする態度を養う。
8. 生涯発達と教育に関する理論・知識・技能を、人々の心と身体の健康を保持増進するために、進んで活用しようとする意欲を養う。
9. 社会生活や教育現場における課題を見出し、生涯発達と教育に関する理論・知識・技能を活用して、他者と協働しながらその解決に臨むことができる。

#### 臨床（心のケア）領域

1. 心理臨床に関する基本的な知識や理論を学び、自らの心理的な課題についての理解を深める。
2. 心理臨床に関する基本的な知識や技能を応用し、人々の心理的な課題を支援・援助するための方法について理解を深める。
3. 心理臨床に関する事例学習や実習を通して得た専門的な知識や技能を用いて、自分自身及び周囲の人々の日常生活における心理的な課題について理解を深める。
4. 心理臨床に関する基本的な理論や概念に基づいて、自らの心の状態や行動の特徴について分析的に考える力を養う。
5. 心理臨床に関する基本的な知識や技能に基づいて、人々の心の状態や行動の特徴について分析的に考える力を養う。
6. 心理臨床に関する事例学習や実習を通して得た専門的な知識や技能を基に、人々の日常生活における心の健康保持増進のための方法を自ら考え、他者と共有する力を育成する。
7. 心理臨床に関する基本的な理論や概念を活用し、自らの心の健康を積極的に保持増進しようとする意欲を育む。
8. 心理臨床に関する基本的な知識や技能を活用し、人々の心理的な課題への支援・援助に積極的に寄与しようとする意欲を育む。
9. 心理臨床に関する事例学習や実習を通して得た専門的な知識や技能を活用し、人々が日常生活の中で心の健康を保持するために他者と協働しながら支援・援助に臨む姿勢を養う。

#### 社会・産業（心とつながり）領域

1. 人間の心と社会の諸場面（人間集団、家庭・家族、対人関係、企業活動）に関する基本的な理論や概念、研究方法などについて理解を深める。
2. 人間の心と社会の諸場面（人間集団、家庭・家族、対人関係、企業活動）に関する応用的な理論・概念及び心理学的なデータ分析の技法に基づいて、人々の心や行動の特徴に関する理解を深める。
3. 社会における経験が心理学的手法を用いてどのように説明されるのかを学び、人間の心と行動に対する経験則的な理解を超えた、実証的・科学的な考え方に基づいた課題の理解を身につけさせる。

4. 人間の心と社会の諸場面（人間集団、家庭・家族、対人関係、企業活動）に関する基本的な理論や概念に基づいて、社会における自分自身の心や行動を分析的に考える力を養う。
5. 人間の心と社会の諸場面（人間集団、家庭・家族、対人関係、企業活動）に関する理論や概念及び心理学的なデータ分析の技法に基づいて、人々の心や行動の特徴を分析的に考える力を養う。
6. 人間の心と社会とのつながりに関する基本的な理論や概念を用いて、日常生活での経験を分析し、実際にそれらを活用する方法を自ら考え、他者と共有する力を育成する。
7. 人間の心と社会の諸場面（人間集団、家庭・家族、対人関係、企業活動）に関する基本的な理論や概念を活用し、社会における自分自身の心や行動を理解しようとする意欲を育む。
8. 人間の心と社会の諸場面（人間集団、家庭・家族、対人関係、企業活動）に関する理論や概念及び心理学的なデータ分析の技法を活用し、人々の心や行動の特徴を理解しようとする意欲を育む。
9. 人間の心と社会とのつながりに関する基本的な理論や概念や日常生活での経験を心理学的に分析する技能を活用して、他者と協働しながらその解決に臨む姿勢を養う。

#### 健康・保健（心とからだ）領域

1. 心と身体の健康の保持増進について、保健を中心とした諸領域の専門的知識と基礎的な技能を理解し修得することができる。
2. 保健を中心とした諸領域の専門的知識や基本的技能を、自己及び周囲の人々の心と身体の健康を保持増進に応用していく方法を理解できる。
3. 学校保健における課題の探求とその解決に資する理論・概念・知識・技能を、専門教育を通して理解し修得できる。
4. 心と身体の健康に関する専門的知識に基づいて、健康の保持増進に関して、自ら実践していく態度を備えるとともに、他者に働きかける力を備える。
5. 保健を中心とした諸領域の専門的知識や基本的技能に基づいて、自己及び周囲の人々の心と身体の健康の保持増進をはかる方法を考え実践することができる。
6. 専門教育で修得した保健領域等の理論・概念・知識・技能を活用して、学校保健における課題解決の方策を主体的に考え、連携・協働すべき人々と共有することができる。
7. 心と身体の健康の保持増進に関して、保健を中心とした領域の専門的知識と基礎的な技能を自ら進んで学び、他者と協働しながら実践していくことができる。
8. 保健を中心とした諸領域の専門的知識や基本的技能を活用して、自己及び周囲の人々の心と身体の健康の保持増進をはかる方法を、自ら考え実践しようとする意欲を備える。
9. 専門教育で修得した保健領域等の理論・概念・知識・技能を活用して、学校保健における課題を見出して、他者と連携・協働しながら、その解決に臨むことができる。

#### 卒業研究領域

1. 心理学の主な領域（基礎、発達、教育、臨床、社会、健康）に関する理論や概念、技能を基盤に、複眼的な視野から専門知識の理解を深める。
2. 自己の関心に基づく研究課題を自ら設定できる能力を育成する。
3. 研究課題を解明するための心理学の実践的・応用的な研究方法を習得させる。
4. 心理学の主な領域（基礎、発達、教育、臨床、社会、健康）に関する理論や概念、技能を基盤に、客観的に分析するために必要な論理的思考力を育成する。
5. 他者に対して論理的・客観的に表現する研究プレゼンテーションの能力を育成する。
6. 研究課題に対する論理的・客観的な思考力と表現力を養う。
7. 心理学の主な領域（基礎、発達、教育、臨床、社会、健康）に関する理論や概念、技能を基盤に、分析した結果・知見を地域や社会に結びつけ、還元する姿勢を養う。
8. 他者とのラポールを形成し、複眼的視点から協働して、研究課題を考察・解決する能力を育成する。
9. 研究課題に対して、持続的かつ主体的に取り組む意欲と態度を養う。

---

## 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

---

心理学科では、教育研究上の目的と教育内容を踏まえたうえで、次のような学生を求める。

1. 人間の心と行動に対して興味がある。
2. 共感的態度を有し、他者を支援したいという意欲がある。
3. 知的好奇心に富み、物事を科学的・論理的に考察する思考力を備えている。

また、入学後の学修の基盤として、次の知識や能力が求められる。

### ①知識・技能

1. 心理学の学びや養護教諭免許、公認心理師など資格取得に必要な高校までの教科・科目に関する基礎的な知識を身につけている。
2. 「人の心と行動」に関する課題について問題点を見つけ、さまざまな人の生き方や考え方を尊重した改善方法を考えることができる。
3. 客観的なデータや資料を分析するための基礎的な知識（特に、国語、数学、英語など）を身につけている。

### ②思考力・判断力・表現力

1. 「人の心と行動」に関する課題について資料（文章、データなど）を読み取り、問題点を見つけることができる。
2. 他者の考えを理解するとともに、自身の考えを適切に表現し、誰とでも対話し、協力して行動できる能力を有している。
3. 社会における諸問題を解決するために、さまざまな視点から物事を考え、他者の意見を取り入れながら適正な判断をくだすことができる。

### ③主体性・多様性・協働性

1. 入学後の修学に必要な基礎学力（英語・国語・数学・生物・化学・日本史）を元にして、課題に対して積極的に取り組むことができる。
2. さまざまな人の生き方や考え方を大切にし、他者を支援したいという共感的態度を有している。
3. 社会的課題に興味を持ち、自ら積極的に関わろうとする態度を有している。